

経営比較分析表（令和4年度決算）

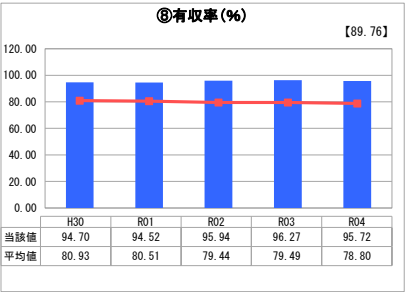
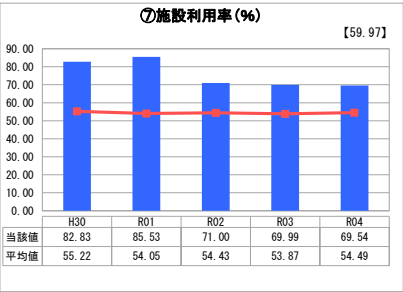
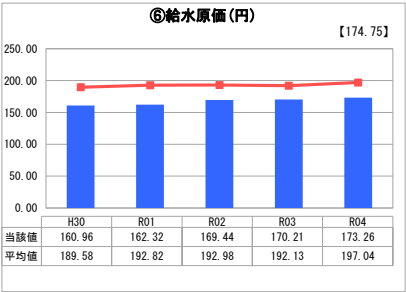
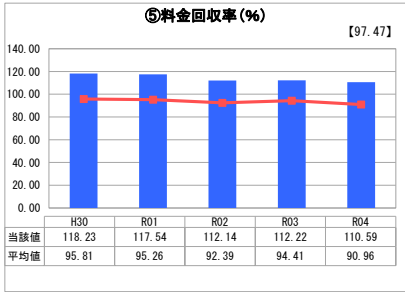
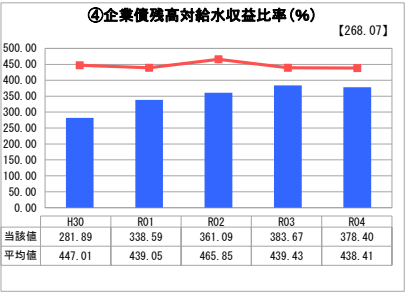
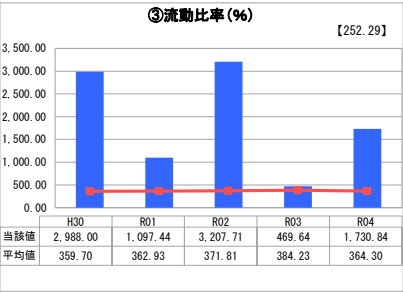
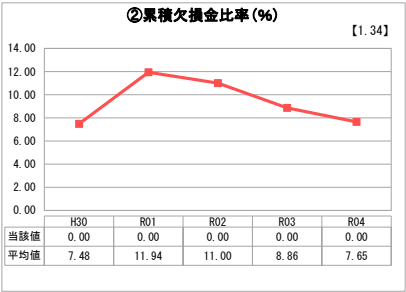
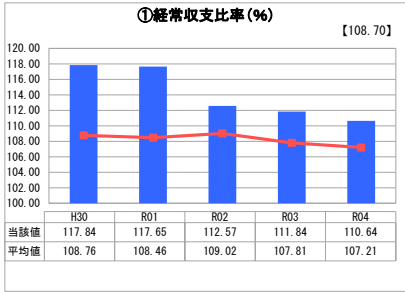
福岡県 大木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.45	99.36	3,870	

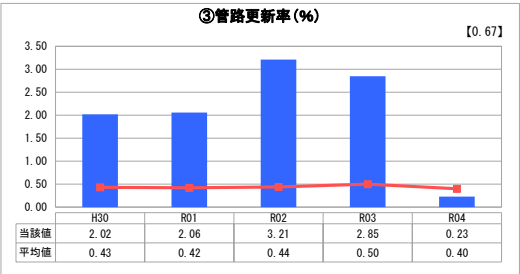
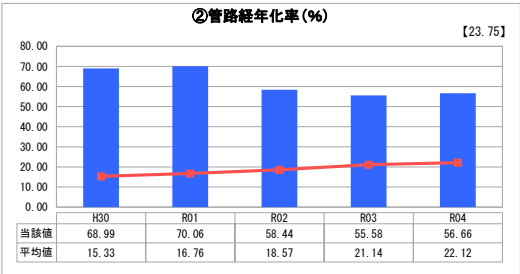
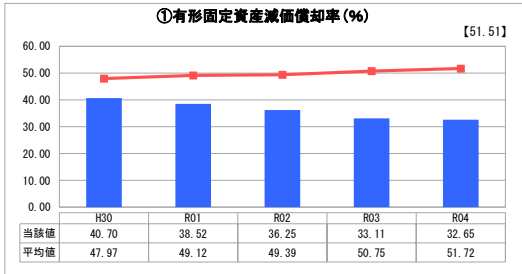
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,897	18.44	753.63
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,721	18.44	744.09

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、100%以上を維持しており、健全な事業運営を行っています。

「②累積欠損比率」はありません。(0%)

「③流動比率」は、常々100%を大きく超えているため支払い能力に問題はありません。

「④企業債残高対給水収益比率」は、近年、第1期配水管路耐震化事業による企業債により残高が増加傾向にありますが、類似団体平均値に比べて低い水準で推移しています。

「⑤料金回収率」は100%以上を維持しており、類似団体平均値及び全国平均を上回っております。

「⑥給水原価」は、類似団体平均値を下回っているものの微増傾向にあります。

「⑦施設利用率」は、小石原川ダム completionに伴い、福岡県南広域水道企業団からの基本水量が引上げられ、余裕を持った事業運営となっています。

「⑧有収率」は、第1期配水管路耐震化事業の影響もあり、目標値である95%以上を維持できております。また類似団体平均値よりも上回っており効率的な施設の運用を行っています。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」及び「②管路経年化率」は、第1期配水管路耐震化事業により、減少傾向にあります。

「③管路更新率」は、令和3年度までは、第1期配水管路耐震化事業により、類似団体平均値より高い更新率で推移していましたが、令和4年度については、事業の完了に伴い0.23%となりました。

全体総括

第1期配水管路耐震化事業により、令和3年度までは管路更新率は類似団体よりも高く推移しましたが、管路経年化率は、依然として類似団体よりも高くなっているため、計画的に更新事業を行っていく必要があり、厳しい事業環境にあります。

今後とも、不断の経営努力による経費縮減と収入確保に努めるとともに、中長期的な視点に立ち、持続可能な水道経営を行っていきます。